

全国から開通情報

(北海道)

北海道新幹線(新青森〜新函館
北斗間)の開業

平成28年3月26日(土)、北海道新幹線(新青森〜新函館北斗間、約149km)が開業しました。津軽海峡を越えて東京から824kmの区間が直結され、これまでより53分早い最短4時間で結ばれました。昭和39年の北海道新幹線開業から52年を経て、北海道から九州・鹿児島まで約2150キロが新幹線で結ばれたこととなります。

当日は各地で開業イベントが盛大に催されました。新函館北斗駅の出発式には市民ら約2500人が参加し、石井国土交通大臣、高橋道知事、島田JR北海道社長らが、東京行きの一列車「はやぶさ10号」の発車に合わせてテープカットとくす玉開披を行いました。また、祝賀会には三村青森県知事も北海道新幹線で駆け付



(独)鉄道・運輸機構提供

青函トンネルを出る北海道新幹線

けました。函館駅上空では航空自衛隊「ブルーインパルス」による祝賀飛行が行われ、沿線では一列車を大漁旗で迎える大勢の人々の姿が見られました。

東京〜新函館北斗間の運賃は2万2690円(通常期、普通車)、1日あたり10往復されます。このほか仙台、盛岡、新青森の各駅間も1往復ずつ運行されます。札幌(約211km)への延伸は平成43年春頃の予定です。

(東北)
三陸沿岸道路 仙塩道路4車線
化及び多賀城IC完成

平成28年3月27日(日)、復興道路である三陸沿岸道路の起点に位置する仙塩道路(仙台港北IC〜利府中IC、7.8km)の4車線化と、新設の多賀城ICが完成しました。開通により、2車線区間でのボトルネックや三陸沿岸道路と仙台北部道路の合流部における車両の錯綜が解消し、慢性的な渋滞が緩和されます。

また、三陸沿岸道路沿線の宮城県内の市町村のうち、唯一ICが設置されていなかった多賀城市に新たにICが開通することで、地域産業・観光などの活性化が期待されます。

多賀城ICで行われた開通式には



仙塩道路 / 多賀城高架橋

市民ら約400人が集まり、テープカットとくす玉開披で開通を祝いました。

(中部)

新東名高速道路(浜松いなさ
JCT〜豊田東JCT)開通

平成28年2月13日(土)、新東名高速道路(浜松いなさJCT〜豊田東JCT、約55km)が開通し、すでに開通している御殿場JCT〜浜松いなさJCTと合わせて延長約200kmのダブルネットワークが形成されました。今回の開通で、慢性的な渋滞の緩和による所要時間の短縮と定時性の確保、大規模災害時の早期復旧への貢献、大規模更新工事による交通影響の軽減及び地域の観光や産業への貢献など



郡界川橋



栗東水口道路／葉山高架橋

の効果も期待されています。
 岡崎SAでの開通式典には、石井国土交通大臣、大村愛知県知事、川勝静岡県知事をはじめとする来賓が、長篠設楽原PAでの開通式典には、太田前国土交通大臣、穂積新城市長をはじめとする来賓が出席し、テープカットに続き、開通パレードと地元市民によるフリーウォーキング、鳴り物や踊りのパフォーマンスなどのイベントが開催されました。

(関西)
国道1号バイパス栗東水口道路と水口道路が開通

平成28年3月19日(土)、国道1号栗東水口(みなくち)道路(湖南省菩提

寺)栗東市小野、延長4.1km)が2車線で開通し、供用中の国道1号水口道路(甲賀市水口町名坂)同町泉延長3.5km)が2車線から4車線に拡幅されて開通しました。また、名神高速道路に栗東湖南ICが新設されて栗東水口道路と直結しました。

沿線の栗東市、湖南省、甲賀市の3市には国内外の上位企業が数多く立地しており、今回の開通で国道1号上の渋滞が大幅に緩和されて物流の効率化と生産性の向上が見込まれ、さらなる地域経済の活性化が期待されています。

開通式典は栗東水口道路本線上で開催され、中嶋甲賀市長などによるテープカットが行われました。くす玉開披、参加者全員で風船を飛ばす「バルーンリリース」、地元物産展や栗東湖南IC)式典会場間約2kmのウォーキングといった数々の催しに、多くの参加者が楽しんでいました。

(四国)
一般国道33号高知西バイパス(枝川IC)天神IC開通

平成28年3月5日(土)、一般国道33号高知西バイパスのうち枝川IC)天神IC間(2.9km)が開通しました。同バイパスは総延長9.8kmで枝川ICはほぼ中央に、天神ICはその西側に位置します。未開通区間は

西側の終点にあたる、鎌田IC)波川ICの残り1.5kmです。今回の開通によって渋滞解消や災害時の緊急輸送道路として期待が寄せられます。開通式典は枝川小学校体育館で開催され、枝川ICではテープカットとくす玉開披、記念パレードが行われました。

その他

- ・高知県 県道足摺岬公園線 松尾(大浜)バイパス間(2.2km)

(九州)
南九州西回り自動車道 芦北出水道路(芦北IC)津奈木IC開通

平成28年2月27日(土)、南九州

西回り自動車道の芦北出水道路芦北IC)津奈木IC間(延長7.7km)が開通しました。今回の開通により八代市)津奈木町間が従来より約26分短縮し、沿線地域の特産物の効率的な輸送が可能となります。

その他

- ・長崎県 主要地方道 棧原小茂田線道路(2.6km)
- ・鹿児島県 南薩縦貫道 知覧道路(南九州川辺IC)知覧金山水車IC(3.1km)
- ・鹿児島県 南薩縦貫道 霜出道路(南九州知覧IC)塗木交差点(5.2km)



高知西バイパス



芦北出水道路／湯浦川橋

平成28年熊本地震における災害対応

平成28年4月15日(金)PC建協は、本部事務局に「本部災害対策本部」、九州支部内に「現地対策本部」を設置しました。

「現地対策本部」では会員企業の被災状況などを把握した上で、災害協定に基づき協力体制を確立したことを九州地方整備局はじめ各機関へ報告しました。

平成28年度の本部主催の意見交換会テーマ等決まる

PC建協本部では、平成28年度の各地方整備局等との意見交換会について、基本となる提案テーマを次のとおり決定しました。なお、意見交換会は7月から9月にかけて開催される予定です。

- 1 担い手確保
 - ・ 完全週休2日モデル工事の試行拡大
 - ・ 工事量の平準化と安定的確保
 - 2 生産性向上の推進
 - ・ 適切な工期の設定
 - ・ プレキャスト技術採用の拡大
 - ・ 標準化による生産性の向上
 - 3 インフラ長寿命化への対応
 - ・ PC橋の維持保全事業での試行
- 工事の発注

平成27年度高校生「橋梁模型」作品発表会

平成28年2月12日(金)、仙台市青葉区のせんだいメディアアテックにおいて高校生「橋梁模型」作品発表会・審査会が行われました。今年度で14回目の開催となり、東北6県の18校36作品の応募の中から一次審査を通過した10作品が展示され、審査員と一般の方々の投票によって受賞作が決定しました。最優秀賞には秋田県立大館工業高等学校(秋田県大館市)が制作した「日本橋」が選出され、プレゼンテーション賞も受賞しました。



日本橋

「海洋暴露試験30年の研究成果」合同報告会

平成28年2月16日に東京都中央区築地の浜離宮朝日ホールにて、国立研究開発法人土木研究所、国立研究開発法人港湾空港技術研究所の主催で「海洋暴露試験30年の研究成果」合同報告会(PC建協共催)が開催され、375名の来場がありました。

PC建協は、土木研究所、(一財)土木研究センター、(一社)日本鉄鋼連盟と共同で駿河湾沖の施設にて暴露試験を昭和57年から開始しており、当日の報告会では、「飛沫部におけるコンクリート構造物の防食技術」と題して、暴露30年が経過したコンクリートの塩分浸透性や鋼材腐食の調査に加え、樹脂塗装鉄筋、PEシース、塗装材料等の防食材料の調査に関する発表が行われました。



合同報告会の様子

愛知工業大学へピヨピヨ板を寄贈(中部支部)

平成28年2月3日(水)、愛知工業大学工学部土木工学科材料研究室に薄肉プレテンPC板「通称…ピヨピヨ板」を寄贈しました。

今回のきっかけは、呉承寧教授から「授業やオープンキャンパスで教材として利用できる小型のPC構造物があれば、多くの学生がPC構造に興味を抱いて理解を深めることができるとご提案頂いたことでした。寄贈した板の大きさは幅300mm×厚さ40mm×長さ2900mmです。

PC建協中部支部ではこれまで、名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科・石川靖晃教授の研究室に同板を寄贈し、授業などで活用していただいています。今後も、教材支援を継続して中部地区の学界との親交を深めていきます。



ピヨピヨ板

PC技術専門家を派遣

PC建協では、多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的に、PC技術専門家を派遣する出張講義を開催しています。

関東支部では、平成28年1月14日(木)と28日(木)の2回に分けて、群馬工業高等専門学校で生徒41名に出張講義を行いました。講義内容は「PCの概要」「PCの設計・施工」「PC鋼材の緊張」「実物の緊張装置の説明」でした。

北陸支部では、平成28年2月8日(月)に、新潟大学で生徒14名に出張講義を行いました。講義のテーマは「PC橋について(土木の中の橋屋、そして技術者)」で、講義内容は「PC、そして橋について」「PC構造の特徴」「橋屋として」「現実の橋屋の業務」「さまざまなPC橋の架設」でした。

このほかにも、1月8日(金)に九州大学、1月27日(水)に北海道大学、1月29日(金)に北見工業大学で出張講義を行いました。



PC技術専門家派遣／群馬高専

各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

関東支部では平成28年1月20日(水)にピー・エス・コンクリート茨城工場でPC技術講習会を行い、茨

関東支部以外で開催された技術講習会

開催日	支部	対象者	講習内容
1月14日	九州	沖縄県	架設術架設の積算
1月15日	東北	宮城県	PC橋の概要、PC橋の補修・補強における点検
1月22・29日 2月16・19日	中部	道路メンテナンス会議参加者	橋梁補修技術
1月28日	北海道	北海道開発局	橋梁点検の基礎及びポイント、非破壊検査の紹介
2月9日	九州	沖縄総合事務局 沖縄県市町村 コンサルタント	最新のPC技術の動向、PC床版取り替え工事事例、PC構造物の維持保全
2月10日	東北	秋田県 秋田市町村	PC橋梁の補修・補強、PC床版

城県職員37名が参加しました。テーマは「PC橋について」で、座学と工場見学との2部構成でした。座学では、「橋及びPC橋の歴史」「PC構造の概要」「架設工法・施工管理のポイント」「点検のポイント」「調査」「補修補強事例」を講義しました。また、工場見学では、プレテン桁配筋状況とプレキャスト製品の概要と設備を説明しながら案内しました。

現場見学会開催

PC建協支部による現場見学会が各地で開催されました。このうち関西支部は2月18日(木)に浜坂道路「久斗大橋」で現場見学会を行いました。見学会には、兵庫県と新温泉町の職員と鳥取大学の関係者、合わせて31名が参加しました。

兵庫県新温泉土木事務所、吉開技師による事業説明に続いて、関西支部委員からPC橋の概要と施工方法を紹介し、鳥取大学の福山敬教授や学生から事業と施工に関する質疑応答が活発に行われました。この日はカナダから来日中のウォーラー大学のキース・W・ハイペル教授も参加し、桁の架設作業などを熱心にご覧になっていました。

本橋は橋長160mの4径間連続ポストテンションT桁橋です。

関西支部以外で開催された現場見学会

開催日	支部	現場名	対象者	参加数
1月8日	北海道	直別共栄線総B139改良工事 (橋梁上部工)	十勝総合振興局若手技術職員	10
1月24日	九州	恩納南BP4号橋上部工(下り)工事	PC建協の会員企業関係者とその家族	53
1月26日	東北	東日本コンクリート 巨理PC工場	福島工業高等専門学校3学年	37
2月9日	関西	北大河原橋工事、 北大河原トンネル工事	京都市立伏見工業高等学校、 立命館大学、相築建設業協会、 京都府職員	87
4月1日	中部	トヨタテストコース	名古屋大学の学生	17



現場見学会／浜坂道路久斗大橋

平成28年度各種講習会日程

第24回建築技術講習会

平成28年6月24日(金)13時～17時
建築会館大ホール
演題

① 安曇野市庁舎

～PCaと免震による質実剛健な庁舎～
内藤 小川原・尾日向設計共同企業体

② 立川市立第一小学校 柴崎図書館・

学童保育所・学習館
～市松状PCaPCリブ付壁の構造デザイン～
小西泰孝建築構造設計

(意匠設計・シーラカンスアンドアソシエイツ)

③ 宮崎カトリック教会(聖堂棟)

～伝統的な教会の姿を現代の技術で～
(㈱エム設計・㈱星野建築構造設計事務所)

④ 港区白金の丘学園

～板状のPCaPC部材を用いた張弦構造～
(㈱日建設計)

第6回PC工事技能実習

平成28年10月18日(火)～平成28年10月21日(金)

申し込み締切：平成28年9月16日(金)
*キャリア形成促進助成金が適用されます。

第44回プレストレストコンクリート技術講習会

(PC工学会主催)

テーマ：生産性向上へむけたPC技術の展開
題目

① 「PC建築作品・技術の紹介」

② 「PC構造物におけるプレキャスト技術の現状と課題」

③ 「PCサステナビリティ宣言について」

④ 「更新用プレキャストPC床版技術指針について」

⑤ 「大規模自然災害に対応可能なPC構造物の適用について」

⑥ 「点検診断技術の最前線」

⑦ 「海外のPC技術の動向」

会場・開催日

・東京：平成28年6月3日(金)

江東区文化センター

・大阪：平成28年6月10日(金)

朝日生命ホール

・広島：平成28年6月14日(火)

広島市西区民文化センター

・高松：平成28年6月15日(水)

ホテルパールガーデン

・札幌：平成28年6月17日(金)

ホテル札幌ガーデンパレス

・名古屋：平成28年6月23日(木)

ウィルあいち

・新潟：平成28年6月24日(金)

新潟県自治会館

・仙台：平成28年6月28日(火)

イズミティ21

・福岡：平成28年6月30日(木)

福岡国際会議場

PC 技士試験講習会

(PC工学会主催)

平成28年9月12日(月)

アルカディア市ヶ谷

*詳細はPC工学会HPをご参照

ください。

更新用プレキャストPC床版技術指

針の発刊、講習会

(PC工学会主催)

公益社団法人プレストレストコンクリート工学会は、「更新用プレキャストPC床版技術指針」を平成28年6月に発刊します。

この指針は、本格化する供用中の

路線の床版取り替え工事を対象とし

たプレキャストPC技術の合理的な

適用方法を検討するために組織され

た「更新用プレキャストPC床版技

術検討委員会」(委員長 池田尚治横

浜国立大学名誉教授)の成果です。

発刊に合わせて全国3会場で講習

会を開催予定です。

「会場・日程」

・東京：平成28年7月20日(水)

・仙台：平成28年7月21日(木)

・大阪：平成28年7月26日(火)

「指針の構成」

第1章 総則

第2章 既設構造物の変状調査

および更新構造物の設

計作用の推定

第3章 設計

第4章 施工

第5章 維持管理

参考資料

既設ポストテンション橋のPC鋼材

の調査および補修・補強指針(案)の

発刊、講習会

(PC工学会主催)

公益社団法人プレストレストコン

クリート工学会は、「既設ポストテン

ション橋のPC鋼材の調査および補

修・補強指針(案)」を平成28年9月に

発刊予定です。

この指針は、「既設ポストテンショ

ン橋のPCグラウト問題対応委員会」

(委員長 宮川豊章京都大学特任教

授)にて検討された、①既設ポストテ

ンション橋の実態把握、②PCグラウ

トの充填性調査手法の把握、③PC

鋼材の健全性把握手法の把握、④ポ

ストテンション橋の健全性診断の方法、

⑤PCグラウト充填不足、PC鋼材

損傷時の補修・補強の提案、の成果を

取り纏めたものです。

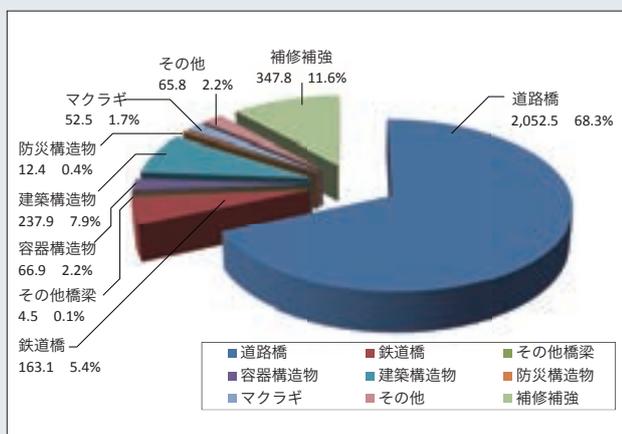
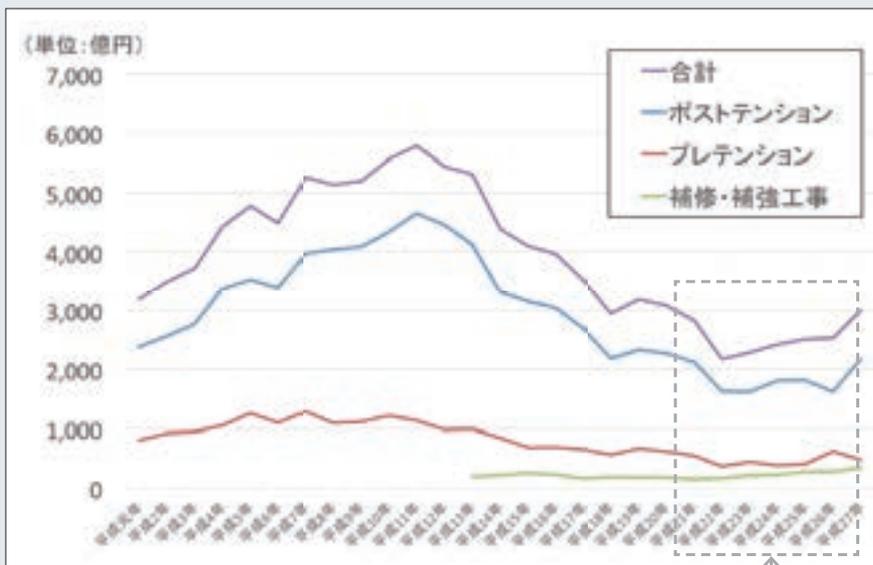
発刊に合わせて全国で講習会を開

催予定です。(日程等未定)

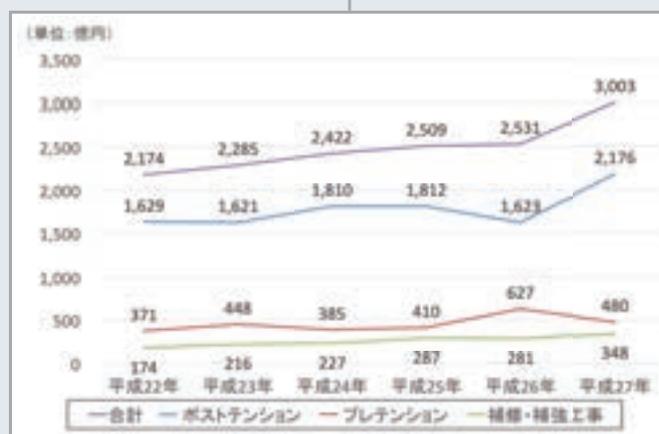
PC統計(受注実績)

平成27年度P C建協会員のP C関連の受注総額は、道路橋、鉄道橋の新設橋梁及び橋梁の補修補強工事の受注が伸びた結果、5期連続して増加となり3,003億円(対前年度比119%)となりました。

用途別では、道路橋が2,288億円(前年度1,718億円)あり、このうち新設工事は2,052億円(前年度1,551億円)で補修補強工事は236億円(前年度167億円)となりました。鉄道橋は165億円(前年度54億円)となりました。



平成27年度用途別受注実績



年度別受注推移

編集委員会

上野 進一郎(編集委員長)、 櫻福 浄(編集副委員長)、
鈴木 裕二、 竹本 伸一、 有馬 浩史、 鈴木 義晃、 的場 純一、
高松 正伸、 松嶋 憲昭

編集幹事会

手賀 由成(幹事長)、 廣部 永隆(副幹事長)、 白石 紀之、 久我 誠志、
俵 綾子、 南 浩郎、 浅見 聡、 大谷 圭介、 吉田 健治、 太田 誠、
清水 郁子、 荒畑 智志、 西永 卓司

編集後記

4月1日に各社で入社式が開かれ、多くの若者がP C建協会員企業に仲間入りしました。今号では入社5年目までの若手職員7名に就職活動中、現在、今後について語って頂き、「次世代の若い方に入ってきてもらえる業界になるためには」というテーマで座談会を企画しました。

また、特集では角倉了以の功績を辿り、京都のP C橋、P C建築、文化を巡りました。表紙の源氏物語ミュージアムはP C構造の屋根で柔らかな空間が創られ、P C建築の可能性を見る事ができました。

今後もP Cの魅力を活かして、多くの若い方にも興味を持って頂けるようP Cプレスを通じて広報活動をして行きたいと思っております。

(浅見)